

令和7年度「佐賀県木造塾」 レポート

ー 佐賀市富士町県産材見学ツアー他の 報告 ー 佐賀市富士町、神崎市脊振町

日 時 令和7年12月 6日（土）

午前8：45 集合 9：00 出発 16：00 帰着予定

見学場所 佐賀市富士町 主伐現地

佐賀市富士町 木材供給センター

佐賀市大和町 佐賀市立松梅公民館

神崎市脊振町 神崎市立脊振中学校武道館

本日の「木造塾」は佐賀市富士町の主伐現地へと最初に向かいました。

佐賀県林業課 林産担当の山田係長様より佐賀県の森林・林業の現状についてDVD視聴とともにバスの中でレクチャーされました。主伐現地に入り、富士町森林組合の納富氏に森林作業のことについて説明され、高機能機械作業により生産コスト削減を果たしていることなどわかり易く説明されました。実際に植林された杉を伐採して枝落としから一定の長さに切りそろえるといった、すぎ・ヒノキ伐木の一連の作業を見せていただいた。

佐賀市大和町では地区の木造の公民館を佐賀市様のご協力により見学することができました。

このあと昼休憩を挟み、神崎市脊振町の木造の屋根トラス梁で構成された中学校武道館の見学も行いました。

見学者が多人数にもかかわらず、佐賀市様、神崎市様には快く受け入れていただいたことに感謝いたします。



ー主伐現地ー

富士町森林組合の納富氏に植林地の特性・林作業の詳しい現況について説明を受け山へと向かった



ー主伐現地ー

伐採・集積されたスギ・ヒノキ木材供給センターへと運搬される



ー主伐現地ー

林道は伐採された枝葉が利用され、滑り止めや土砂の流失機能などの役目を果たしているとのこと



ー主伐現地ー

高機能機械の作業状況を安全に配慮しながら真近で見学できた



ー木材供給センターー

主伐地から搬送されてきた木材を加工する施設で丸太原木の皮はぎ・サイズ分け等を長いレーンで行い、各地に出荷されて行く



ー佐賀市大和町 松梅公民館ー

柱・梁の架構材が現わしにされており、木造の良さと温かみのある木質感が施設全体から存分に伝わってきた

・・・ お昼休憩後に山あいの県道を通して神埼市の「脊振中学校武道館」へと向かいました

木造で造られた大スパントラス構造の武道館で、杉の集成材で構成された部材が使用されている連続した屋根トラス梁がそのまま露出して活かされ、美しい骨組みの天井を見せており圧巻でした



ー脊振中学校武道館ー



ー脊振中学校武道館ー

スギ・ヒノキの伐採・搬出に至るまでの行程を視察・研修をさせていただき、富士町森林組合様の森林資源への取り組みと林業に携わる方たちの日々の支えがあってこそ、木材資源を活用できることをあらためて認識できた貴重な1日となりました。

本日の研修で体験したことや森林を通して学んだことがこれからの建物づくりに活かしていければと考えます。また本日参加いただいた方を初め、県民の皆様へ「佐賀の森林資源」・「さがの木」への理解が深まり、佐賀の森林資源を有効活用していただければ幸いです。

■「木造塾」ツアーは本年度も初冬ながら好天に恵まれ、事故もなく進行し無事、建設会館駐車場に帰着しましたこと、ご協力頂いた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

ご協力いただいた方： 佐賀県 農林水産部 林業課様
佐賀市富士町森林組合様
佐賀市松梅公民館様
神埼市教育委員会様

(一社) 佐賀県建築士事務所協会